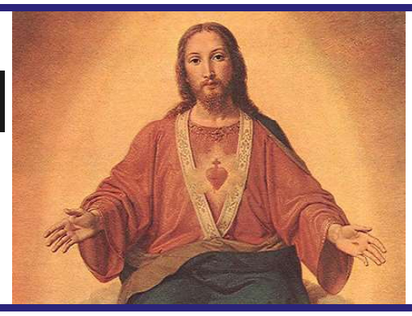
広報 なかわだ

第２９１号

2003年 **6月号**



中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北１丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

平成15年6月8日

6月の予定

委員会	6月　8日
壮年会、婦人会	6月 15 日
聖霊降臨の祝日	6月 25 日
サロン	6月　8, 22日
レジオ	6月 13, 20, 27 日

自　己　紹　介　（その２）

パウロ　高野哲夫

前回、簡単な自己紹介をさせていただきましたが、今回も引き続き、自己紹介をさせていただきます。・・・といっても、昨年11月に行われました神学院ザビエル祭（年に一回、皆様をお招きして、日頃お世話になっていることを感謝する祭り）の際に作成しました、『召命物語』の文章をそのまま紹介させていただきます。「高野ぉ?！　さぼるなぁ?！・・」と言う声が聞こえそうですが、・・・　今回に限らず、七の七十倍（マタイ18：21-22）、赦してください（ね）。

むかしむかし、ずーっと昔、ある町に男の子が住んでいました。この男の子には、お爺ちゃんと寝たきりのお婆ちゃん、お父さんとお母さん、そして四つ年上のお姉さんがいました。男の子とお姉さんは、幼児洗礼でした。それは、お母さんが結婚する前に、「私たちのうちに子供が産まれたら、洗礼を受けさせます」と、お父さんに言い、お父さんはそれを約束したからでした。

しかし、この男の子の家には仏壇と神棚がありました。そんな家での彼の仕事は、食事の前に、炊き立てのご飯を仏壇にお供えすることでした。お母さんから、お供え用のご飯を渡されると、仏壇のある部屋に行き、お供えをした後、「チィーン」と小さな鐘を鳴らし、手を合わせて祈るのでした。それが終わると次に、一歩さがり上を見上げます。視線の先には神棚がありました。彼は、大きく手を広げ、「パァーン、パーァン」と手を打ち、一礼をしました。その後で、彼は満足げに食卓に着くのでした。

男の子は、日曜日になるとお母さんに連れられて教会へ行きます。彼にとっては、この日常の出来事が普通であり、全く違和感などありませんでした。

彼は、神父様を見て「格好いい！神父様になりたい！」と思ったことは一度もありませんでした。どちらかというと、神父様には親しさを感じていませんでした。ただ家では、司祭用の大きさのパンの形に似たお菓子を手に持っては、「皆これを取って食べなさい・・・」と遊んでいました。

男の子も大きくなり、習い事を始め、学習塾にも行くようになると、だんだんと教会からも離れていきました。あまり、教会が楽しくなかったので好都合でした。高校、大学と進むにつれ、教会へはクリスマスと復活祭に行くだけになりました。

そんな彼が教会に戻ってきたとき、それは、自分の進む道を見失い、何とかしなければと焦りながらも、一歩を踏み出すことが出来ないときでした。

教会に通うようになってしばらくして、彼は主任司祭に相談に行きました。彼の話を聞いた神父様は、彼にフランシスコ会を紹介してくれました。フランシスコの「フ」の字も知らなかった彼は、フランシスコの伝記を読み、フランシスコの生き方が好きになりました。単純に貧しく、キリストのみ跡に従うフランシスコに・・・。しかし彼は自分の未熟さのために、６年後フランシスコ会を退会します。辞めることなど考えたこともなかった彼が・・・。

しかしその後、どれほどの人々と出会ったのでしょうか。彼は、人々の中で生きていること、これからも人々の中で生きていくことを感じ始めました。

それから数年後、彼は横浜教区の神学生となり、主の呼びかけに応えようとしたのでした。

み旨がおこなわれますように。　アーメン。

8. 勉強会の件
- 高野助祭による講座が5月10日（土）より毎週土曜日の午後２時から始まる。
- グルニエ神父様も独自に考えておられる。例えば、日曜日のことばの典礼の朗読個所を勉強したり、求道者向けの要理勉強など。また子どもの会へも拡大していきたい。
- 高野助祭が来られたので、子どもたち対象の指導もいろいろ出来そう。名簿整備した上で、高野助祭と要理委員が連携して考えていく。
- 初聖体は11月がふさわしい。子どもたちの印象に残るよう、特別のミサとして行なう。一応「王であるキリスト」の主日（11月23日）を予定しておく。

9. 農機具小屋の使用に関して
- 庭や畑の仕事に携わる方達が、標記の小屋を使用するにあたっての使用基準については委員長に一任。

10. 典礼に関しての神父様からのご希望
- 司式書を載せる傾斜のある台が欲しい。また、B4の大きさの「典礼のしおり」を少なくとも２部欲しい。

11. お掃除の件
- 今までより掃除の範囲が広がったので（台所、洋室、応接室）、日曜日の聖堂のお掃除の時に椅子まで拭いていただけないかという要望あり。⇒（結論）まずはやってみる。

12. 区民クリスマスについて
- 今年の実行委員会に、今回から神父様にも出ていただけることになった。
- 実行委員会には他に阿部映子さんと石井悠子さんが委員として参加する。

13. 山崎神父様の図書の処分について
- 処分するなら譲って欲しいという希望もある。（JRの会）
- 処分については、清水氏と小野寺氏に一任。

14. 山崎神父様との連絡員任務終了の件
- 清水氏、阿部（映）さんの連絡員の任務終了。（鵜飼、林両神父様に引継ぐ）
- 但し金銭関係は清水氏に引続き関わって頂くことになる。

15. その他
- ミサでの「共同祈願」は、なるべく短かくまとめるように。また、意向は小教区のために限る。

16. 葬儀時マニュアル（壮年会対応用マニュアル）完成（資料あり）
- 下村壮年会長から紹介あり。今後これに従い実施する。

壮年会だより

＜ 5月 18 日（日） 12 名出席 ＞

1. 5/4 教会委員会報告（詳細は委員会だより）
2. 6月の聖書朗読者　　・6/1七浦さん　・6/22橋さん
3. 審議事項

(1) 5/4教会委員会からの要請事項

a. バザー委員の選出について
- 壮年会委員は　下村・山本委員が選出されました。

b. 教会入口案内板整備について
- 委員会より「壮年会員の自作を望む声」があり、対応を協議した。その結果、七浦さんが主体になり検討して頂けることになった。

(2) 壮年会関係

a. サロン運営アンケートについて
- 本日承認された「サロン運営アンケート」を実施（壮年会全会員）する。
- アンケート集計時に「信徒全員への理解活動等を含めて検討する」意見あり。

b. 「壮年会便り」発行と郵送について
- 壮年会行事報告と全会員参加への、呼びかけを目的に初版発行が承認された。
- 欠席者には郵送する。今後は必要時発行（不定期発行）。

4. 報告事項

(1) 中和田カトリック教会葬儀当日マニュアルについて
- 5/4教会委員会に報告した内容を、全員で確認（マニュアル・用具等）した。

(2) 平成15年度　壮年会行事結果
- ご復活前大掃除・庭木剪定を4/19（土）9名にて実施。

(3) 壮年会資料整備
- 「壮年会運営規定」「連絡網」「総会議事録」等事務室スチールケースに常備。

5. 自由発言

(1) 教会物置修繕について
- 物置屋根トタンのペンキ塗り、床板補修等を 5/31（土）9:00～17:00 七浦・古田さんの指導で実施します。お手伝いをできる方はお願いします。

(2) 広町町内会清掃協力について
- 町内会合同の下水清掃が6/8（日）早朝行なわれます。
- 古田・竹内さんに参加して頂きます

婦人会だより

＜ 5月 18 日（日） 28 名出席 ＞

1. 委員会報告（委員会だより参照）
2. バザー委員会
- バザー委員会設置に伴ない婦人会から、七浦さんと太田さんが選出されました。

3. お知らせ
- 不用の布地をお持ちの方で、バザー用にご寄付してくださる方、よろしくお願いします。また、作品についてよいアイディアがありましたらお知らせください。
- コンサート、バス遠足のご案内
  ① 6月14日（土）　チャリティーコンサート（チェロとハープ）　藤沢教会
  ② 6月26日（木）　婦人同志会バス遠足（沼津教会と沼津御用邸記念公園他）
  ③ 6月28日（土）　チャリティーコンサート（ベトナムの障害者支援）　二俣川教会
  ＜詳しくは掲示してありますので、ご覧になり、お申し込みください＞
- 教会内の冷蔵庫の個人的使用は避け、また、ゴミなどは、すべて持ち帰るよう申し合わせがされました。

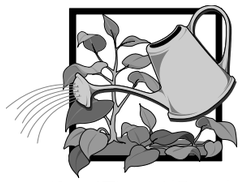
次回例会は６月15日（日）　当番はA地区です。

お知らせ

キリスト教入門講座（高野哲夫助祭）

- 毎月第1、2、3土曜日（第4、5土曜日はなし）
- 時間：午後２時から
- 会場：集会室

どなたでも参加できます。
ご自身の他、お知り合いの方々にもお勧め下さい。



津和野・「乙女峠まつり」

花坂　昌子

5月2日、私は教会のお仲間たち5人と一緒に、津和野で行なわれる「乙女峠まつり」に参加するために旅に出ました。石見空港から益田経由でバスを乗り継ぎ、車窓の田園風景を眺めながらの心なごむ旅が始まりました。

津和野は静かな街です。まず「和紙の石州館」で和紙の出来あがる迄を見学しました。店には琴や人形、便箋など和紙製品がいろいろと売られていました。お店の方が、親切にも私達の荷物を宿まで届けてくれました。

街を散策。訪れた森鴎外、西周旧宅は、記念館として保存されていて、土間や竈、畳敷きの大広間など昔風の建物に懐かしさを感じました。川沿いの遊歩道には白壁沿いに清らかな川が流れ、沢山の美しい鯉が泳ぐのが見られました。

津和野教会は街の中心にあって、門には「乙女峠まつり」のアーチが掲げられ、小作りのすてきな教会です。聖堂の中は畳敷きで、中央のマリア像は〝まつり〟のためにかわいい花々で飾られていました。ステンドグラスからは夕日が差し込み、その美しい輝きの中でしばらく祈りを捧げました。

私達の宿は教会の近くにあったので、一旦帰って急ぎ夕食を摂り、前夜祭に参加するために、再び教会に向かいました。聖堂は全国各地から集まった巡礼者でいっぱいになりました。聖歌と神父様による祈りで始まり、神父を志す青年たちの自己紹介と力強く頼もしい宣言などもありました。それぞれの自己紹介の中で、聾唖者の娘さんたちから手話の出来る神父様を増やしてほしいとの要望があったり、「乙女峠の殉教者に信仰の原点を見つけにきました」とおっしゃる方もあって、胸が熱くなる思いでした。みなさんがそのような思いで集まって来られたのを知り、自分の信仰の曖昧さを恥じました。

自己紹介は私達の番となり、参加の経緯をお話しましたが、神父様はそれぞれのみなさんの思いを覚えておられて、後の共同祈願で「下村さんのご子息のために祈りましょう」とおっしゃった時には、目頭が熱くなり、心からの祈りを捧げました。暖かい人の心に触れた思いでした。

翌朝10時、聖母行列に参加する人々が教会に集まり、プラカードのもとに並びました。マリア様が台の上に載せられ、三末、野村両司教様、20人ばかりの司祭団を先頭に、聖母行列が始まりました。女児は白いドレスに青い帯をつけています。行列は、ロザリオを唱えたり、聖歌をうたったりしながら、ゆっくりと乙女峠へ向かいました。道筋では籠から花が撒かれ、初夏のような強い陽射しの中を進みました。峠にかかると、木陰は涼しく、せせらぎの音も気持ちよく、すぐに頂上に着き、野外ミサが行なわれました。この場所で少年を含む36名が殉教したのです。

明治元年から6年までのキリシタン禁令によって、153名ものキリスト信者が長崎浦上から津和野へ預けられ、改宗を迫られ、殉教したのです。彼らと彼らをお慰めになったマリア様の栄光と記念のために、乙女峠が大切にされ、その自然とともに守られているのです。三尺立方の牢に入れられて、和三郎と安太郎が死に、少年祐次郎は雪中裸のまま十字架に括られて辱めを受け、むち打たれて亡くなり、他の人も数々の苦行を受けて殉教しました。この事実を思うと、彼らの信仰の強さに〝信仰の原点〟を見た思いでした。今は改宗を迫られることもなく、信仰は自由です。殉教者が守って、土台を築いてくださったのだと確信できました。

委員会だより

＜ 5月4日(日) 14名出席 ＞

1. 3･4月度会計報告(2ヶ月分ー資料配布　甲斐委員)
   - 建設会計　　4月に 内部改装修理268,000円発生、また設備費(照明器具など)発生147,620円
   - 四旬節献金(貯金箱)は一旦愛の献金に入れる
2. 湘南セミナーについての報告(山本委員;資料配布)
   - 講師が決定
     11月15日(土)　青木 昭氏(プロダクション･システィナ代表)
     11月22日(土)　細谷亮太氏(聖路加国際病院小児科部長)
     11月29日(土)　国井神父様(御受難会司祭、典礼の権威)
   - 中和田教会に15,000円負担すべく要請あり
3. 聖体奉仕者の件
   - あらたに任命の必要はないと考える。しばらく様子をみたい。ー　グルニエ神父様
   - 研修会と任命は別に考えてよい。5～7月の研修会については、参加希望者を募ってみる。
4. バザー委員会設置の件
   - 壮年会、婦人会から各々2名を選出する。
   - 委員会からは福島委員と甲斐委員が参加。
5. 神父様お留守時の当番の件
   - 修道会の外国籍司祭は、原則的に3年毎に3ヶ月の休暇があるが、グルニエ神父様は今後4年間カナダで神学校大学院に通う都合上、毎年春と秋それぞれ2週間の休暇をとられる予定。(今回は、5月18日ミサ後出発、6月3日帰国予定。秋は、10月26日～11月11日の予定。)
   - 今回のお留守中の主任代行は、港南教会(045-843-2624)の上原神父様。なお、ミサは5月25日は関根神父様(栄光学園)、6月1日はペレア神父様(戸部教会･助任司祭)　また、ミサ謝礼は神父様の個人的事情なので神父様が払うが、別途会計と相談。
   - お留守中の教会当番は、一般募集で当ってもらう。
6. 教区から保険(盗難)加入の案内があった件
   - 加入の方向で進める。
7. 主日ミサの時間の件
   - グルニエ神父様の意向として､折角の主日のミサなので、皆が一緒に…という主旨で、主日のミサは1回を希望。
   - 土曜日の夕方のミサは困難。(JOCの任務があるので、継続的に行なうのは無理)
   - 当面は9時のミサに一本化。(掲示板も書き換える)

畑が生まれ　育っています

松 下　ツヤ子（畑の愛好者を代表して）

８年位前に、位田さん、くみさん、中谷さん、それに私の４人で「庭をきれいにする会」が生まれ、少し遅れて、松尾さんも加わり、特にお花が好きな松尾さんはもっぱらお花係り、他の仲間は雑草取り、教会の庭の片付け等をやるようになりました。

その頃、垣根の向こう側は、ブタ草やその他の雑草が生い茂り、赤い虫が飛び回り、教会の中や神父様の部屋の中にも入りこんで来ました。山﨑神父様はそれをとても嫌がり、何とか出来ないものかと「庭の会」に言われたのです。害虫駆除の薬を撒いたりしてみたのですが，一向に効きめが無くて、思い切って草を刈り取り、燃やしたのです、それで虫退治が出来、神父さまにも喜んでいただけたのです。

その後、焼け跡を見ていた、当時教会にいらした大水さんが、「ここにコスモスを植えてみたいね。咲いたらきれいだよ」と言われるので、地主さんに相談して見たところ、「どうぞ好きに使ってください」とお許しを頂きましたので、早速コスモスを植えました。次いで赤マンマ、グラジオラスなども植え、少しずつお花畑が広がりました。(ちなみに、これは教会の庭の花畑と管理を異にしています)

月日が少し経って、ジャガイモの植付けが始まる時期に、「ジャガイモ植えてみようか？」と誰言うことなく、野菜第１号のジャガイモを作ることになったのです。早速作る段になって、掘り起こして見ると、驚いたことに、大石小石がザックザク。それを取り除くために、七浦さん夫妻、その他の方々に手伝って頂き、どれほど長い時間が費やされたことでしょう。あの土地は畑として利用するものではなかったのです。４年経った今でも、笹の根や石に阻まれて、ダイコンを植えても、土の中で二股、三股と分かれてしまい、思ったほど長くは育たないのです。

それでも、山﨑神父様に新鮮な野菜を召し上がって戴きたいという皆の気持ちがあって、神父様の食事の支度をされる方たちに使っていただきながら、今の大きな畑にまで成長したのです。今では10種類位の作物がとれる畑になりました。しかし、種や苗、肥料代などに経費がかかるので、婦人会、壮年会の方たちにも収穫物を買って頂き、それら費用の一部に当てることが出来るようになりつつあります。

無農薬のため虫にやられ、キャベツが虫食いだらけになったり、雨が降らず、水遣りや施肥などの手入れが出来ず、ナスなどが割れてしまって売り物にならず、がっかりしたこともしばしばあります。

でも、楽しいこともありました。ジャガイモの穫り入れ時に、要理学校の子供たちに畑に来てもらい、芋堀りをして楽しんでもらったことがありました。「大きいぞ！」と言っては歓声を上げ、「小さいなあ」と言っては笑い、とても楽しそうでした。また、タマネギ、ジャガイモを「バザーのカレー」に使ってもらったり、サトイモを「クリスマスの豚汁」に利用してもらったり、少しはお役に立てたことが、畑にかかわった者達の喜びにもなりました。これからも、まだまだ大石小石と仲良くしていかなければと思っていますが、一つにはみんなの健康のためと思ってやっていますし、「労働も祈りになる」と聞いたことがありますので、一日が終わると、体は疲れていても、サッパリとした明るい気持ちで帰ることが出来ます。同好の者達の集りで、特に〝きまり〟はありません。都合の良い日、時間を利用して働いています。

どうですか、皆さんもご一緒にいかがですか？汗を流しに畑にいらっしゃいませんか？

これからさらに、上の方の土地も掘り起こしてカボチャを植え、スイカも植えたいと思っております、これには、壮年会の古田さん、七浦さん、福島さんなど、楽しみながら？やってみたい気持ちの方々が手伝って下さることになっておりますので、健康になりたい方、楽しみを持ちたい方、汗を流してみたい方、安全で新鮮な野菜を食べてみたい方、どうぞ畑作りに参加して下さい。

ジャガイモの花が咲きだし、ナス、キュウリ、トマトの植付けも終わりました。今年も忙しくなります。

ミ サ 当 番 表　(2003年　6月、7月)

月/日	主　日	朗読、奉納	侍　者	オルガン	月/日	主　日	朗読、奉納	侍　者	オルガン
6 / 1	主の昇天	壮 年 会	下　迫	岩　渕	7 / 6	年間第十四の主日	壮 年 会	下　迫	保　科
6 / 8	聖霊降臨の主日	青 年 会	石井(大)	森　田	7 /13	年間第十五の主日	青 年 会	石井(大)	岩　渕
6 /15	三位一体の主日	婦人会A地区	石井(拓)	保　科	7 /20	年間第十六の主日	婦人会B地区	石井(拓)	森　田
6 /22	キリスト の聖体	壮 年 会	石　崎	岩　渕	7 /27	年間第十七の主日	壮 年 会	石　崎	保　科
6 /29	聖ペトロ聖パウロ使徒	婦人会A地区	下迫(瑠)	森　田					

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏：℡ 802-6258)迄お申し出下さい。